

すきです
南信州

南信州広域だより
VOL.55 2011.11

南信州広域連合
飯田市追手町2丁目678
(長野県飯田合同庁舎内)
TEL 0265-53-7100
FAX 0265-53-7155
URL <http://mi7mi.org/>



minami
Shinshu
ニッポンの日本。

【ペットボトルロケット 発射ー!!】
-桐林リサイクルセンター 環境学習講座開講-

桐林リサイクルセンターに子供たちの声が沸き立つ
環境わくわく体験講座・第2回「ペットボトルロケット作り」
廃材となったペットボトルを利用しての手作り品だ
発射ー！誰かが遠くまで飛ばすと一斉に歓声が沸く
楽しみながら知らず知らずのうちに環境について学ぶ

圏域内の人口・世帯数
(2011.9)
人 口 168,390人
世 帯 58,649戸



リニア中央新幹線	2~5
平成23年南信州広域連合議会第2回臨時会	6
桐林リサイクルセンター 開設して半年、好評です	6
秋の火災予防運動	7
「演劇的記録三六災害五十年」DVD完成	7
受け継がれる伊那谷の民俗芸能	7
消防写生大会の入賞作品	8

リニア中央新幹線

環境影響評価の手続きへ

設置の費用負担を考える」とする、6項目の提案がありました。

当地域の現飯田駅併設という思いは変わらないものの、水源域のルート上での回避、そして既存市街地への関わりなど、一歩踏み込んだ提案を受け、関係する機関で協議した結果JR東海の環境配慮書の考え方を受け入れることに決定しました。

9月20日には、阿部守一長野県知事に経過を報告し、「リニア計画が地域にとって良いものとなるよう全力で取り組みたい。県の玄関口をどうしていくかという感覚で、皆さんと一緒に考えたい」と知事からの力強い回答があり、県と連携して進めていくことを確認しました。

今後も県と協力し、リニアが地域に良い効果をもたらすものとなるよう、JR東海との協議を進めてまいります。

中央新幹線は、東海旅客鉄道株式会社(以下「JR東海」という。)が8月5日に公表したルートと駅位置の概要を示す計画段階環境配慮書(長野県内分)(以降「環境配慮書」という。)に当地域の要望が反映されていないとして、リニア中央新幹線建設促進飯伊地区期成同盟会(以下「同盟会」という。)はJR東海との直接協議を行い、「飯田線の存続」「飯田線へのリニア駅近接」など6項目を確認し、JR東海の考え方を受け入れることとしました。

リニア中央新幹線は、環境影響評価方法書の縦覧が終わり、工事着工に向けて環境影響評価(環境アセスメント)調査の段階に進みます。

当地域が求めてきた現JR飯田駅へのリニア駅併設は実現できないことになりましたが、今後もリニアのメリットを最大限に活かし、リニア将来ビジョンで掲げた地域の将来像実現に向けて取り組んでまいります。

JR東海との協議

の協議を行うこととなり、前回に続き率直な意見交換を行いました。

9月7日と13日の2回にわたり、同盟会

協議の中でJR東海から、「水源域をルー

ト上から外す」「飯田線はしっかりと存続す」とJR東海は直接協議を行い、出席した同盟会の役員の皆さんは、率直な意見や疑問をJR東海に直接投げかけてまいりました。

9月7日の協議では明確な結論に至る前に時間切れとなつたことから、13日に2回目

計画段階環境配慮書の概要

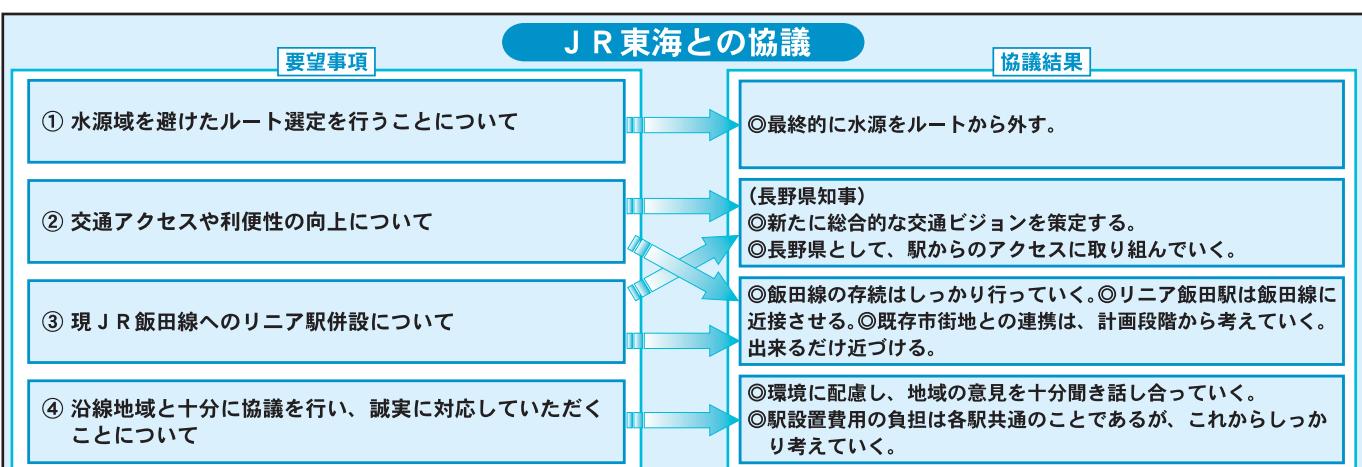
(図1・図2参照)

- ① 水源域を避けたルート選定を行うことについて
- ② 交通アクセスや利便性の向上について
- ③ 現JR飯田線へのリニア駅併設について
- ④ 沿線地域と十分に協議を行い、誠実に対応していただくことについて

JR東海との協議

協議結果

- ◎最終的に水源をルートから外す。
(長野県知事)
 - ◎新たに総合的な交通ビジョンを策定する。
 - ◎長野県として、駅からのアクセスに取り組んでいく。
- ◎飯田線の存続はしっかりしていく。◎リニア飯田駅は飯田線に近接させる。◎既存市街地との連携は、計画段階から考えていく。出来るだけ近づける。
- ◎環境に配慮し、地域の意見を十分聞き話し合っていく。
 - ◎駅設置費用の負担は各駅共通のことであるが、これからしっかりと考えていく。



表しました。

環境配慮書の内容は、JR東海のホームページに公開されていますが、当地域に関係する箇所を抜粋し、掲載します。



(1)事業実施想定区域 (概略ルート…3km幅)

(2)伊那山地西端～中央アルプス南縁西部

小さくできる荒川岳、塩見岳の間を通過する。▽小渋川をできる限り短い距離で通過する。と示されています。

①早川～南アルプス～伊那山地西端
▽南アルプスをほとんどトンネルで通過する。▽糸魚川・静岡構造線および中央構造線をできる限り短い距離で通過する。▽静岡県と長野県の県境に位置する300m級の稜線の中でも、土被りができる限り

地形上、天竜川周辺は明かりで、中央アルプスは主にトンネルで通過する。▽天竜川を明かりで、できる限り短い距離で通過する。▽長野県と岐阜県の県境付近においては、恵那山周辺の脆弱な地質による影響を避けるため、また屏風山断層の影響を回避するため恵那山の北方を

(2)中間駅の概略位置 (直径5km円)

通過する。▽清内路断層、阿寺断層をできる限り短い距離で横断する。▽中央アルプス南縁部の河川等から取水している地域において、今後、取水の方法や使用状況等を十分把握し、影響度合いの把握に努めた上で、ルートの選定を行っています。

駅の概略位置は、JR飯田駅周辺と天竜川右岸平地部で比較検討した上で、▽技術的に設置が可能で、利便性が確保されるとともに、環境への影響が少なく、用地確保が可能である天竜川右岸平地部に設置する。▽今後具体的な位置を確定するにあたっては、駅周辺整備との整合性等や、道路アクセス利便性確保のための座光寺PAにおけるスマートIC及びアクセス道路について、関係機関と調整を進めます。と示されています。

特にJR飯田駅周辺に駅を設置することについては、技術的には可能としながらも、路線延長が約3km延長することに伴い工事費が約500億円～600億円増加(土木・電気設備等の増加)すると示されています。



リニア長野県協議会で決議

県としての考え方まとまる

リニア中央新幹線建設促進長野県協議会（会長 阿部知事）は、10月18日に臨時総会を開催しました。

県内各地域の意見を踏まえ、県全体の利便性、とりわけ南信地域の利便性向上と地域振興の観点から要望事項を4項目にまとめ、これを決議し、総会後、出席したJR東海幹部に要望書が手渡されました。

決議事項は、

①水源域の確実な回避や、自然・生活環境の保全

既存市街地との連携

- ②飯田線の駅との結節やアクセス整備、
- ③JR飯田線の利便性の向上や活性化
- ④関係者への丁寧な説明、地域の意見に対する誠実な対応を求める。

というものです。

会議の席上、知事は「地域振興のため一緒に取り組む」「本決議を基に、強力に取り組みを推進していく」との力強い発言をされました。

環境影響評価方法書は9月27日に公告されました。10月27日までの一ヶ月間、県内の関係8市町村（飯田、松川、高森、阿智、喬木、豊丘、大鹿、南木曽）などで縦覧されました。
方法書とは、環境影響評価を行うために必要な対象事業の概要、対象事業実施区域及びその周囲の概況、並びに評価の項目、調査、予測及び評価の手法について記載したもので、先の環境配慮書に対する行政機関や一般からの意見への事業者としての見解も示されています。

この方法書は、県内6カ所（大鹿村、豊丘村、高森町、飯田市、南木曽町2カ所）で説明会が行われました。
当地域の説明会では、△超電導リニア方式の原理、△中央新幹線の路線の概要、△環境影響評価の手続きの流れ、△環境配慮書に対する意見の概要と意見に関するJR東海の見解等について説明がありました。また会場の皆さんからの具体的なルートや

環境影響評価 方法書の縦覧

方 法 書 の 縦 覧

駅位置に関する質問に対し、JR東海の担当者からは、詳細なルートや駅位置は、環境影響評価の手続きの中で調査や評価を進め、次の準備書の段階で明らかにしていくと説明がありました。

この他に電磁波や騒音に関する質問があり、いずれも山梨実験線で得られたデータに基づき定められた環境基準以下であると説明され、消費電力量に関しては、発電所の建設など新たな投資が必要ない範囲であるとの説明がありました。

なお、方法書は、JR東海のホームページに公開されています。

開業までのスケジュール

今後は、環境影響評価を経て、工事実施計画書の申請及び認可が行われ、着工されます。

5月12日	交通政策審議会小委員会 国土交通大臣へ答申
5月	建設主体・営業主体にJR東海を指名、整備計画の決定、JR東海に建設を指示
6月7日	環境配慮書の公表
8月5日	環境配慮書（長野県分）の公表
9月27日	方法書の公表

準備書の公表 評価書の公表 報告書の公表

工事実施計画の申請・許可

H26年度	着工（東京－名古屋間）予定
H39年目標	東京（品川）－名古屋間で開業予定
H57年	大阪まで延伸予定

※準備書とは…環境アセスメント結果の公表

評価書とは…環境アセスメント結果の修正・確定

報告書とは…環境保全措置等の結果の報告・公表

JR東海は、環境影響評価の手続きを円滑に進めるため、環境保全事務所を沿線各県に設置しました。県内の事務所は、飯田に設置されていますので、お問い合わせは同事務所へお願いします。

当地域の説明会では、△超電導リニア方式の原理、△中央新幹線の路線の流れ、△環境影響評価の手続きの流れ、△環境配慮書に対する意見の概要と意見に関するJR東海の見解等について説明がありました。また会場の皆さんからの具体的なルートや

◆ JR 東海環境保全事務所（長野）
◆ 住所 飯田市元町5430-5
第一吉川ビル2F
◆ 電話 0265（52）6511
(受付時間 平日午前9時～午後5時)

リニア中央新幹線を活かした地域づくりシンポ

南信州広域連合では、飯田下伊那地域の住民の皆さんに多数ご参画いただき、約半年間の議論の末、昨年11月にリニア中央新幹線を見据えた地域づくりの指針である「リニア将来ビジョン」を策定しました。

環境アセスメントの段階を迎えた現在、改めて「リニア将来ビジョン」の実現に向けて「リニア中央新幹線を活かした地域づくりを考えるシンポジウム」を9月10日に開催いたしました。会場は、立ち見が出るほど800人を越える大勢の皆様の参加があり、地域の将来を担う地元高校生の姿も見られました。JR東海との直接協議が行われている中ではありましたが、リニア中央新幹線を活かした地域の将来について基調講演や鼎談が行われました。



基調講演 藤谷 浩介 氏
(日本政策投資銀行参事役)

日本政策投資銀行地域振興グループ参事役の藤谷浩介さんを講師に、「リニア中央新幹線を活かした地域づくり」というテーマで、基調講演が行われました。

新幹線の駅がある地域の事例や商業統計等に基づくデータに裏打ちされた実例から、飯田下伊那地域の地域づくりについて論じられました。講演の中で、最近開業した九州新幹線の鹿児島中央駅を事例に取り上げ、駅を一步降りた瞬間に、鹿児島が元気なまちだとわかり、そのことが地域づくりを進める上では非常に大切であると述べされました。

最後にご自身の意見として、「この地域にできる駅は、長野県の駅であり、三遠南信地域の駅でもある。どこに出来るかわからないが、みんなが使いやすいように最低限のお金で、最大限の努力をし、徹底的に考えていただきたい。」とまとめられました。



牧野 光朗
リニア中央新幹線建設促進
飯伊地区期成同盟会長

長野県の南の玄関口、三遠南信の北の玄関口として飯田下伊那地域が役割を果たしていく。そのため「21世紀型の戦略的地域づくり」に取り組む。

今日は、高校生がシンポジウムを聴いていただいているが、子や孫のためにこの素晴らしい地域をどう残していくか。これがリニアを見据えた地域づくりに非常に重要で、人材サイクルの構築に繋がる。そして世界に輝く、世界の一隅を照らす飯田下伊那地域、南信州地域に繋がる。

若い人たちのために、出来る限りのことをを行い、リニアを見据えた地域づくり、リニア将来ビジョンに

「リニア中央新幹線を活かした地域づくり」と題し、日本政策投資銀行の藤谷浩介参事役、長野県経営者協会飯伊支部の萩本範文支部長、リニア中央新幹線建設促進飯伊地区期成同盟会の牧野光朗会長（南信州広域連合長、飯田市長）による鼎談が行われましたので、要旨を掲載します。

萩本 範文
長野県経営者協会飯伊支部長



▲リニアを活かした地域づくりの鼎談

掲げている「小さな世界都市」や「高付加価値都市圏」へ向けて全力で取り組む。

新しい産業の集積地としても考るべき。これからは、日本企業だけではなく、外国企業も誘致すべきである。個人的には、次世代産業の集積地を期待している。魅力ある産業があり、発信さえすれば人は来てくれる。併せて外国人の定住も考慮すべきであり、インターナショナルスクールや文化施設も必要である。

藤谷 浩介
日本政策投資銀行
地域振興グループ参事役

リニアによりこの地域は、普通に名古屋や東京に通勤している人たちと同じ時間距離になるが、この地域の景色は全然違う。世界にもない自然環境、すばらしきれいな場所が大都市の真横に来る。都会と同じような中途半端な開発をしていくのか、美しさ、すばらしさ、人のまじめさを残しつつメリットを活かしていくのか、実は道は2つにわかれると思っている。

駅がどこに出来るかわからないが、真剣に考えることは無駄ではない。これからのことについても、最後まで取り組んでほしい。明らかに信州であり、飯田・下伊那地域は大都市と全然違う地域であるのに、東京や名古屋のすぐ近くの別世界とな